



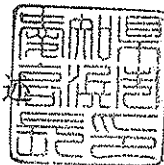
19高計第 25号

平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

高浜市長 森

貞



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

本市は愛知県の中央南部に位置し、近年の自動車産業界の好調を背景に、西三河の知多地域への玄関都市として着実な発展を遂げてきており、この地域経済を支える大動脈としての道路の役割はますます大きくなっており、今後の更なる発展のためには、一般国道419号線道路改築事業（地域高規格道路衣浦豊田道路）、緊急地方道路整備事業（都市計画道路吉浜棚尾線街路工事・主要地方道西尾知多線歩道設置工事）等の国・県道の幹線道路整備と幹線市道を始め生活道路に至るまでを、体系的に整備推進することが必要不可欠であります。

市民の日常生活を支える生活道路においても、幹線道路の整備の立ち遅れが朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的な渋滞となっており、それを避けるための通過車両が生活道路への進入を引き起こし、沿道への騒音、排ガスによる環境への悪影響、交通事故の多発等、多大な支障をきたしております。

そのため、市民の交通安全と渋滞のない道路として、投資効果の高い交差点の右折車線増設等の交通安全対策事業により整備推進しておりますが、まだまだ未整備交差点も数多くあり、市民も安全な道路整備の推進を強く要望されているところであります。

よって、国におかれては、地域の実情を十分に理解され、道路特定財源の目的を踏まえ、今後も計画的で効率的な道路整備の一層の促進が図られるよう安定的な財源の確保をするとともに、道路特定財源以上に一般財源を充当して道路を整備しております地方の実情を勘案のうえ、特に地方の道路財源を充実強化されることを強く要望します。